

令和6年度第2回宇都宮市民大学運営協議会会議録

- 1 開催日時 令和6年8月6日(火) 午前14時から
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席委員  
丸山 純一 副会長 野中 正知 委員 薄羽 正明 委員 大谷 佳久 委員  
大石 和博 委員 齋藤 明彦 委員 馬場 知久 委員  
(以上7名)
- 4 欠席委員  
赤羽 幸雄 委員 荒井 隆 委員 片桐 幸枝 委員  
(以上3名)
- 5 出席職員  
生涯学習課長 塚田 真仁  
家庭教育・地域人材グループ係長 加藤 裕史  
家庭教育・地域人材グループ総括 久保 孝弘  
家庭教育・地域人材グループ社会教育主事 鈴木 豪  
家庭教育・地域人材グループ主事 田中 大翔  
家庭教育・地域人材グループ主事 釜井 羽依  
家庭教育・地域人材グループ主事 金田 陽南子  
生涯学習課会計年度任用職員 塚田 哲夫  
生涯学習課会計年度任用職員 松永 佳寿子  
生涯学習課会計年度任用職員 藤田 莉帆
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 付議事項
  - (1) 報告事項
    - ・ 報告第1号 令和6年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について
    - ・ 報告第2号 令和6年度宇都宮市民大学後期専門講座の実施状況について
  - (2) 協議事項
    - ・ 協議第1号 令和6年度宇都宮市民大学公開講座の実施について
    - ・ 協議第2号 令和7年度宇都宮市民大学の実施方針(案)について
  - (3) その他

(閉会 午後14時54分)

(1) 報告事項

丸山会長	色々と素晴らしい企画があったと思うが、予想されていたように、ヤングケアラーの講座の受講生が少ない。この点について、講座を企画されている馬場委員の意見をお聞かせ願いたい。
馬場	市民大学の主な受講生は60～90代と年齢層が高いため、ヤングケアラーについて関心のある人が少ないと思われる。子どもを持つ40代くらいのお父さま、お母さま世代の方が興味があるのではないかと。私自身も80代だが、市民大学のテーマとしては少し厳しいのではないかと。
丸山会長	馬場委員の言う通り市民大のボリュームゾーンとずれていたと考えられる。
丸山会長	<b>【報告第2号】</b> いつも感心なのが、色々な分野の方を考えてくれていること
事務局	ライトキューブの中ホールと文化会館小ホールのそれぞれのキャパシティについてお聞かせ願いたい。 500名程度、吉川真氏を呼んだときの実績から想定。文化会館小ホール。公開講座の実績はないか500名程度と想定される。 前は展示物を置いたという経緯から500を想定しつつ、座学の講演会形式を想定している。
馬場	公開講座の駐車場はどうするのか。市の駐車場も難しいのではないかと。
事務局	文化会館の駐車場の確保については、必ず確保できるとはできないので、公共交通機関を使用することを想定している。 文化会館の大ホールということから、専門の、南側に止められるように、公共交通機関を利用してください。ライトキューブは駐車場使用できないが、昨年度あくまでも公共交通機関使用というのを想定していた。
野中副会長	講師、榎本さん、檜崎さんはこれからオリンピックでの結果次第で第1候補にもあがってくると思うので、必ずしも優先する人を決められないと思う。
丸山会長	私が館長をしている栃木県総合文化センターも検討していただけると。県庁の地下駐車場も400台は使えますし、交通の便では非常に便利な場所ですので、センターの方も活用を視野に入れてくれると有難い。 人選は事務局の方にお任せいたします。

(2) 協議事項

丸山会長	2つほどお尋ねしたいことが。1つ目がデジタル配信の取り入れるということ。コロナも落ち着いた今において、デジタル、オンラインの配信を導入する事について。コスト、コスパについて、どれくらいかかるのか、安価なのか。かけるのかお聞かせ願いたい。
事務局	令和4年度の公開講座で使用時は配信の委託をしたため、コストをかけて実施。令和5年度ではメディアアーツの学生に授業の一環として無料で依頼をしていた。今年度は不確定ではあるが、市の機材をオンライン配信として実施するなら、貸出できる機材で実施が可能なら取り入れたい。テストは必要だが。まずは自分たちでできるのかという部分を精査。その後実施に踏み込んでいけたらと考えている。
馬場	業者委託となるとコストもかかるということですね。
丸山会長	もうひとつは、定員90名ということで、以前だったら応募者の数とか、講師によって調整していたと思うが、90名というのはこの会場での最大人数なのか
事務局	前期でも80名の講座があり、3人掛けの席を使用してもらっていたが、場所によっては見えないところも。そういったところ考えて90名が限度だと考えている。
馬場	専門講座も、選考委員会の方法なのですが、Vスタッフも人数がいて、案がたくさん出るが、その講座を誰にやってもらうか。今までなら縄文時代の誰がいるよとかあるが、全く新しい人を探しながらやるから、選考委員会に間に合わないこともある。今後、これまで講師をしてもらった方をデータベース化すると良いのではないか。こちらでも交渉して帝京大学の講師一覧を貰っている。また、大学側でもこの講師を派遣してほしいというのであれば、そういう方法を活用できるのか選考も、5分で急いでプレゼンをしないといけない。書類選考の時点で良く考えてもらって、講座の内容についてももう少ししっかり話させてもらえれば。
事務局	選考委員会については、当日までに検討したい。
野中副会長	ヤングケアラーの問題があったが、低い数字あったが、今後社会をみると、少子化とか貧困は避けてはとおれないので、今後そういうテーマあったときに、去年人が集まらなかったから今後実施しないと方針にはしないほしい。受講者数の大小にかかわらず、実施方針に沿ったにして、目を背けず続けてもらいたい。

(3) その他

丸山会長	事務局からその他連絡事項をお願いしたい。
事務局	第3回運営協議会の開催は例年どおり11月下旬を予定している。詳細は別途通知する。
丸山会長	以上で終了とする。